

model FI-21-SF6

仕様

型式	FI-21-SF6
検知原理	光波干渉式
検知対象ガス	大気中のSF ₆
検知範囲	0 ~ 100 vol% (最小表示デジット 0.1%)
指示精度	±1 vol%
表示	LCDデジタル表示
応答時間	約30秒 (T99.5)
サンプル流量	400ml/min以上
サンプル圧力	0.15 ~ 0.7MPa gauge
使用温・湿度範囲	-10 ~ +40℃、95%RH以下 (結露なきこと)
電源	単2形アルカリ乾電池 4本、又は専用ACアダプター (特別付属品)
外形寸法	約346(W)×248(H)×186(D)mm (突起部を除く)
質量	約5.5kg
その他	大気圧補正、温度補正機能付
標準付属品	高圧サンプリング用耐圧配管、採取口用アダプタ (サンプルポイント用)
特別付属品	専用ACアダプタ

高圧サンプリング用耐圧配管



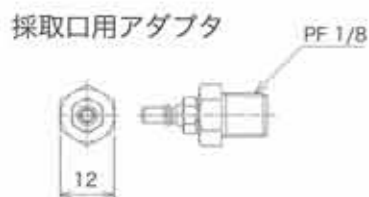
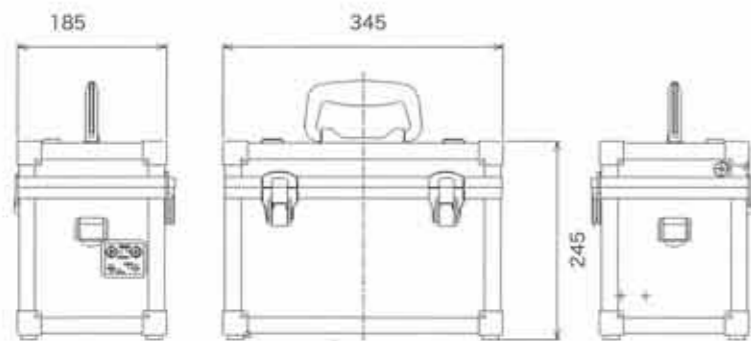
採取口用アダプタ



専用ACアダプタ (特別付属品)



外形寸法



露点計 (水分測定器) も同時発売!



永野電機産業株式会社



変電施設の遮断器、変圧器のメンテナンスに!

SF₆純度計

MODEL FI-21-SF6

SF₆回収リサイクル
屋外作業に最適

国産初



小型・軽量

暖機不要

高速応答

特長

- ・小型、軽量
- ・暖機不要
- ・高速応答
- ・簡単操作、見易いデジタル表示
- ・乾電池 (単2形 4本) 又はAC100V (オプション) の2電源
- ・乾電池では連続20時間使用可能

電気協同研究会
(電気協同研究 第54巻 第3号 75頁)
CIGRE (国際大電力システム会議)
SF₆ RECYCLING GUIDE
の要求に準拠



このカタログ印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。



※本カタログの記載事項は、性能向上のため、お断りなしに変更する場合があります。

理研計器株式会社

本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢2-7-6
営業第一部 ☎(03)3966-1111(代) FAX (03)3558-0043
営業第二部 ☎(03)3966-1114(代) FAX (03)5994-5729

〔営業所〕
札幌 ☎(011)733-7505(代) FAX (011)733-7506
仙台 ☎(022)261-1668(代) FAX (022)261-1675
鶴岡 ☎(0235)28-3156(代) FAX (0235)28-3157
水戸 ☎(029)248-6151(代) FAX (029)248-5269
埼玉 ☎(048)548-8711(代) FAX (048)548-8717
千葉 ☎(043)214-3565(代) FAX (043)235-5578
多摩 ☎(042)397-6813(代) FAX (042)397-6851
神奈川 ☎(044)355-8631(代) FAX (044)355-8008

厚木 ☎(0463)92-6971(代) FAX (0463)92-6975
新潟 ☎(025)247-0400(代) FAX (025)247-0092
浜松 ☎(053)460-7411(代) FAX (053)460-7414
名古屋 ☎(052)411-3636(代) FAX (052)411-3452
四日市 ☎(0593)33-7221(代) FAX (0593)33-7627
金沢 ☎(076)226-8247(代) FAX (076)226-8248
大阪 ☎(06)6350-5871(代) FAX (06)6350-5877
神戸 ☎(078)261-3031(代) FAX (078)261-0610
水島 ☎(086)446-2702(代) FAX (086)446-5855
四国 ☎(089)737-3775(代) FAX (089)737-3742
広島 ☎(082)875-4151(代) FAX (082)875-5030
徳山 ☎(0834)28-6144(代) FAX (0834)28-6172
福岡 ☎(092)691-6372(代) FAX (092)691-6376
熊本 ☎(096)242-5522(代) FAX (096)242-5557
大分 ☎(097)523-3811(代) FAX (097)523-3823

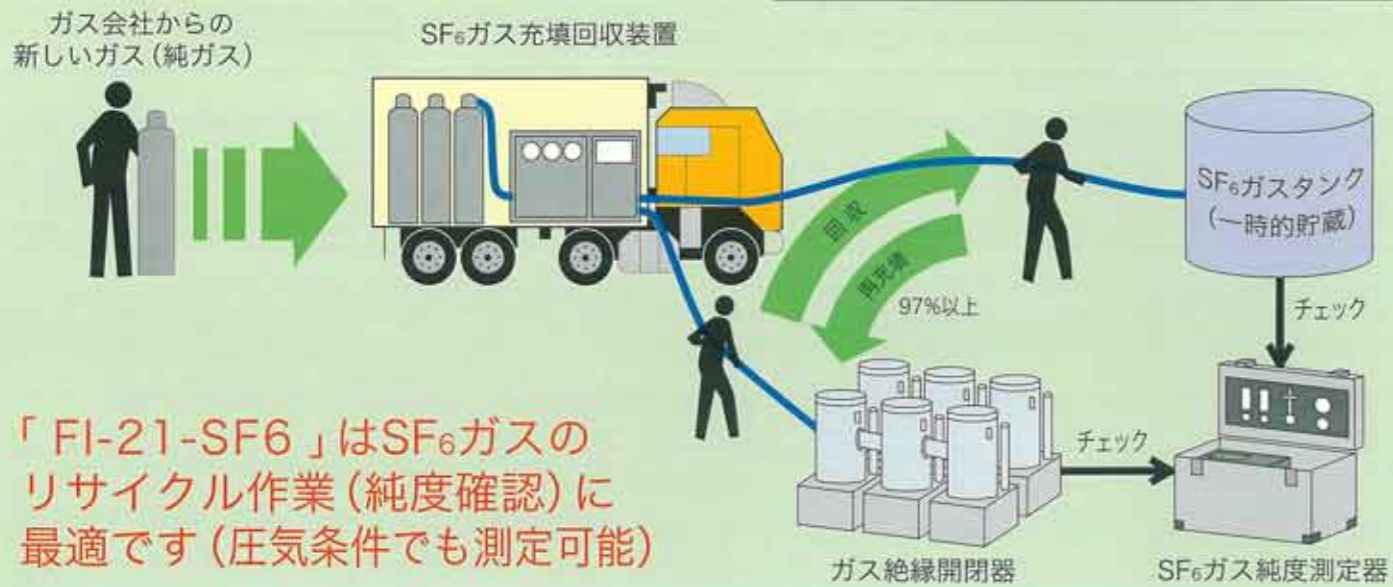
SF₆とは・・・

・京都議定書で温暖化ガスの一つとして指定を受け、大気放出量の削減を求められています。

⇒ リサイクルフローの確立が重要



変電施設におけるフロー



「FI-21-SF6」はSF₆ガスのリサイクル作業(純度確認)に最適です(圧気条件でも測定可能)

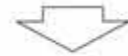
京都議定書

・世界各国が協調して地球温暖化防止への取組を加速するため、1997年12月京都において会議が開かれた会議

・先進国全体で6種の温室効果ガス(CO₂, CH₄, N₂O, HFC, PFC, SF₆)の排出量を2008年から12年の間に、1990年の水準より少なくとも5%削減を目指す

・日本国は6%削減を世界に約束した。そして各自治体はこれを受け2010年度まで前倒しして実現することを決定!

・自治体の前倒しを受け、3年前倒しして各企業は2007年を期限と決定!



濃度測定部

濃度測定部には信頼のある光波干渉式(フーリエ解析方式)を採用し、0~100vol%の広範囲で指示精度±1vol%を実現(電気共同研究会の要求に準拠)



測定手順



① サンプリングチューブを本器に接続します。(供給圧: 0.15~0.7MPa)



② レギュレーターにて圧力を調整します。



③ 流量計A及びBを調整し、規定流量に合わせます。



④ バルブを開き、濃度測定部の指示が安定したら測定結果として読み取ります。

外観

